2017年９月８日

各　　　位

　　　京都知的障害者福祉施設協議会

相談支援部会　部会長　須河　　浩一

第３回　相談支援部会の案内

　時下、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

　さて、以下の日程で第３回相談支援部会を開催いたします。

　　第2回の部会は「相談支援専門員の専門性とは何か。その向上には何が必要か」をテーマに京都ライフサポート協会の高瀬謙一さんに話題提供をお願いし、その後意見交換を行ないました。

第3回の部会は、別紙にあるようなアンケート質問をもとに話し合いを深めたいと思います。このアンケートはこの秋に予定されている日本知的障害者福祉協会の相談支援事業実態調査の末尾にあるものです。

厚生労働省は「相談支援事業の専門性や質の向上」を求めており、私たちにとっても非常に重要な課題であると考えています。しかし、相談支援専門員に必要な基礎力とは何か、専門知識や技術とは何か、利用者対応で配慮すべき点は何か…などの具体的な内容はいまひとつはっきりしていないように感じています。今回の部会では、参加者の方々が日ごろ「こんなケースに苦労している」「こんな知識・技術が必要だった」「こんな落とし穴があったのか！…」など、日ごろ悩み考えておられることを、少しでも共有できればありがたいと思います。ここでの内容を12月の日本知福協の相談支援部会にて反映したいと思います。

　例によって、この案内は相談支援部会に加盟されていない事業所にも差し上げています。また、相談支援センターを持っておられる法人やＮＰＯの方で相談支援部会に入っておられない事業所におかれましても、是非ともご案内いただければ非常にありがたく存じますのでお誘いいただければありがたいです。よろしくお願い申し上げます。

記

　**日時　　平成29年10月2日（月曜日）　午後3時～5時**

**場所　　京都社会福祉会館　談話室**

**内容　　午後3時～3時30分　趣旨説明【別紙参照】**

**4時～5時　　　　意見交換**

**申し込みは知福協事務局に9月27日までにお願いいたします。以降は電話＝070-1238－２５８８＝ＦＡＸ0774－66－3531＝（相談支援センターいづみ）までお願いします。**

別紙

日本知福協の実態調査アンケート【案】

|  |  |
| --- | --- |
| Ⅷ．その他 |  |
| [1]通常のサービス等利用計画作成に比べて、極めて多くの時間や調整が必要なケースの概要についてお聞かせください。（いわゆる困難事例の概要） |  |
| [２]相談支援の提供やサービス等利用計画を作成する上で、注意・配慮している点や、関係機関との調整において苦労している点についてお聞かせください。（特に、困難事例対応において） |  |
| [３] 相談支援専門員として求められる基礎的な知識や技術。また専門的な知識や技術とは何だと思われますか。できるだけ具体的にお書きください。 |  |
| [４]その他相談支援事業の実施に際してのご意見をお聞かせください |  |

ご協力誠にありがとうございました

＊ご参加いただける方は、事前にご記入いただき15枚程度印刷してきていただければありがたいです。　また、ご都合のつかない相談支援員の方で、お答えいただける方がおられましたら、京都知福協事務局までFAXいただければ非常にありがたいです。

〈宛先〉京都知的障害者福祉施設協議会

事務局　FAX 075-366-6628 ※送付状は不要です

京都知的障害者福祉施設協議会

第３回相談支援部会

≪参加確認票　9月27日まで≫

※相談支援部会所属の事業所様は不参加の場合も本票にてご連絡ください。

|  |  |
| --- | --- |
| **法人名・****事業所名** |  |
| **事業の種別****（該当に◯）** | ・基幹相談支援事業所・委託相談支援事業所・指定特定相談支援事業所 |
| **ご連絡先** | **TEL****FAX****メールアドレス** |
| **参加・不参加****（該当に◯）** | **第３回相談支援部会に****参加します　・　参加しません** |
| **参加者氏名****・****役職** |  |  |
|  |  |

**＊以下は参加・不参加に関わらず、ご意見をお聞かせください。**

|  |  |
| --- | --- |
| **今後取り上げてほしいテーマ****研修会内容など** |  |